

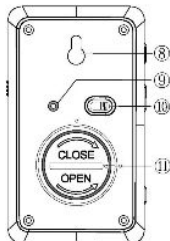
詳細および設定モードの使い方については取扱説明書をお読み下さい。

なお、取扱説明書は必ず参照して下さい。

## 1. ご使用の前に（準備）

### 1-1 電池を入れて、モードを確認

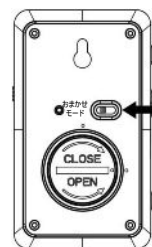
- ご購入時、本体には電池が入っていません。  
①の電池ふたを外して、付属のお試し電池の(+)側が上に見えるように電池を入れて電池ふたを閉めます。



- 電池が正しく本体に装着されると、表示部が全表示し、約2秒後に右図のような現在の測定値が表示されます。ただし数値は右図と異なります。



- 本体裏面のモード切換えスイッチが右図のように「おまかせモード」側にセットされていることを確認して下さい。  
工場出荷時の初期状態は「おまかせモード」になっていますが、万一「設定モード」側の場合は、「おまかせモード」に切り換えて下さい。

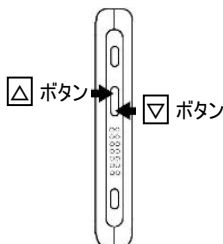
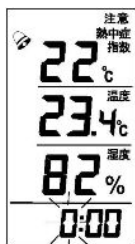


### 1-2 時計を合わせる（時刻設定）

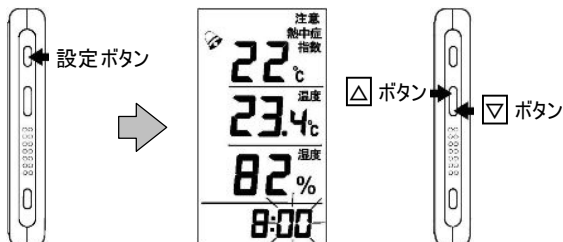
- 電源が入った状態で、本体左側の「設定」ボタンと「タイマー・スタート/ストップ」ボタンを同時に3秒以上押し続けます。



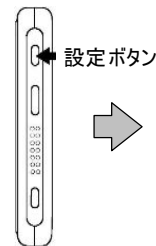
- 時の桁が点滅します。本体左側の△ボタンか▽ボタンを押して、時を設定します。  
△ボタンを押すと時が進み、▽ボタンを押すと時が戻ります。



- 本体左側の「設定」ボタンを1回押すと、分の桁が点滅します。本体左側の△ボタンか▽ボタンを押して、分を設定します。  
△ボタンを押すと分が進み、▽ボタンを押すと、分が戻ります。また、各ボタンを押し続けると、数字が早く切り替わります。



- もう一度、本体左側の「設定」ボタンを一回押すと、時刻設定が終了し、通常の表示画面に戻ります。



#### 【ご注意】

- 時刻設定中に30秒間何も操作しないと、通常の画面に戻ります。
- 電池を交換したり、リセットボタンを押すと、時刻は初期設定「0:00」になりますので、時刻を合わせて下さい。

ここまでの操作が完了すると、すぐにお使いになれます

## 2. 熱中症指数と熱中症の予防

### 2-1 日常生活における熱中症予防指針の表示

「おまかせモード」では、日本気象学会が策定した「日常生活における熱中症予防指針」Ver.1,2007年、に基づき、熱中症指数(暑さ指数、WBGT)の基準に準拠して、表示部の一番上に「危険」・「嚴重警戒」・「警戒」・「注意」の警告が表示されます。

本製品が表示する熱中症指数(暑さ指数、WBGT)の数値と、注意すべき生活活動の目安および注意事項について、下の表のように日本気象学会が熱中症の予防指針として策定しています。

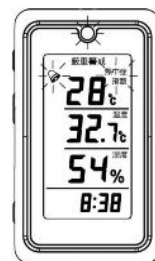
表. 日常生活における熱中症予防指針（日本気象学会）

温度基準 熱中症指数 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動で おこる危険性がある	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28～31℃)		外出時は炎天下を避け、 室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25～28℃)	中等度以上の生活活動で おこる危険性がある	運動や激しい作業をする際は、 定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動で おこる危険性がある	一般に危険性は少ないが、 激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.1 (2007年11月)より転記(一部追記)  
ここのWBGT値はその日の最高気温時の気温と湿度から推定されるものである。28～31℃は、28℃以上31℃未満の意味

### 2-2 熱中症指数とアラーム動作

- 熱中症指数が28℃～30℃に達すると表示の一番上に「嚴重警戒」と表示され、さらに■熱中症指数が30℃以上になると「危険」と表示されます。これと同時にブザー音が鳴り、「アラームマーク」と「熱中症指数」の文字が点滅し、「嚴重警戒」の場合は黄色、「危険」の場合は赤色のアラームランプ(LED)が点滅します。

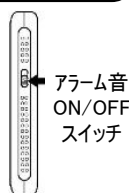


アラームランプとブザー音は連動し、初めに「嚴重警戒」の場合は20秒間、「危険」の場合は30秒間「ピッ」「ピッ」「ピッ」…と連続して動作します。その後、熱中症指数がアラーム範囲にある間、1分間隔で単発的にアラームランプとブザー音が動作します。

熱中症指数が28℃以上では「アラームマーク」と「熱中症指数」の文字はずっと点滅します。ブザーが鳴っている間に、本体左側の「設定」ボタンを押すとアラームランプとブザー音は停止しますが、その後は熱中症指数が28℃未満になるまで、1分間隔で単発的にアラームランプとブザー音が動作します。

## 3. アラーム・ブザー音の オン / オフ

本体右側のアラーム音ON/OFFスイッチを「OFF」に切り換えることで、アラーム動作時のブザー音を消音します。スイッチを上側になるとブザー・オン、下側に切り換えるとブザー・オフになり、この時はアラーム動作中にブザー音が消音されるだけで、他のアラーム動作は変わりません。



## 4. ご使用にあたって

- 本製品は熱中症を完全に防止できるものではありません。温度、湿度、輻射熱などの温熱環境や性差・年齢・既往症・基礎疾患・健康状態などの個人差、運動・労働・日常生活活動など様々な要因が作用して熱中症が発症します。使用中のアラームの有無に関わらず、気分が悪くなった場合には、速やかに医師の診察を受けるなど適切な処置が必要です。

- 本製品は、屋内および屋外の太陽照射のない場所で使用して下さい。太陽照射のある場所や、周囲と異なる熱源の近くで使用すると正しい測定ができません。